

## 2019 年度 学校経営計画及び学校評価

### 1 めざす学校像

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、その人格・個性が尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- [1] 個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- [2] 自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- [3] 実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- [4] 礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

### 2 中期的目標

**【1】建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定し実践する。**

- (1) あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。
  - ア 学年・校務分掌等の教育計画を改善し、理念・方針を浸透させる。
- (2) 教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。
  - ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。
  - イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。
- (3) 総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。
  - ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。

**【2】18 歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。**

- (1) 学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。
  - ア 基礎的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。
  - イ 対話力や課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。
- (2) 生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。
  - ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。
  - イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。
- (3) 部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。
  - ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。
  - イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。
- (4) あらゆる教育活動において、良き市民、社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。
  - ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。
  - イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。
- (5) 国際交流を推進し多様な文化を理解し共生できる国際的資質を育む。
  - ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修生・留学生の受入れを実施する。
  - イ 英語科およびあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。

**【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。**

- (1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。
  - ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。
  - イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。
- (2) 生徒が抱えている課題に対して、そのニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。
  - ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。
  - イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。

**【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。**

- (1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、それを実現させるための能力を養う。
  - ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する。
  - イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。
- (2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。
  - ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。
  - イ 放課後や長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。

**【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。**

- (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。
  - ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。
  - イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

**【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】**

学校教育自己診断の結果と分析 [2019年12月実施予定]	学校協議会からの意見
<p>・評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う。</p> <p>・評価方法： 各項目について、5段階評価で行う。</p> <p>5:その通りである 4:どちらかといえばその通りである</p> <p>3:どちらともいえない 2:どちらかといえば違う</p> <p>1:まったく違う</p> <p>&lt;保護者アンケートの分析&gt;</p> <p>評価の分析結果は、情報提供・生徒指導・行事・施設・クラブ活動・学校全般について高い評価を得ています。学校の取り組みや子どもたちの学校生活を保護者の皆さまに知っていただくために、ミマモルメやホームページを活用しています。今後も情報提供がより多くできるように心がけます。また、「入学させてよかった」や「子どもを成長させてくれる」という項目でも 4.0 を超える高評価を得ています。これからも慢心することなく、さらなる高い評価を得られるように努力したいと思います。一方、授業や教科指導・資格取得や検定試験・個人的な悩み相談・いじめ対策についての評価は、必ずしも高くありません。教職員がチームとなり、一人ひとりの生徒に寄り添いながら、学習意欲を高める授業、安心して学校生活を過ごすためのクラス経営に尽力いたします。次年度は、全項目の評価を 3.8 以上、評価の平均値 4.0 以上をめざします。</p>	<p>&lt;学校評価委員会を開催&gt;</p> <p>令和2年1月25日実施</p> <p>「文化祭・体育会などの行事」への積極的な参加を促し、「学校での友人関係や生徒同士の協力・つながり」を強化する機会を今後も大切にしていきたい。意見が食い違うことがあっても、めざす目標に到達するために協力しチームワークを築いていくことは、「社会で生きる力」を育む大切な体験である。各行事において生徒がもっと主体的に行動できるように、ご指導をお願いしたい。</p> <p>「クラブ活動」においては、ただ強くなることをめざすのでは</p>

■高い評価を列記 \*4.0 以上 ( )は、前年度評価

※評価の平均値 3.9(3.9)

・緊急連絡や行事予定などの情報は「ミマモルメ(メール)」で受信し、確認している。

4.4(4.4)

・子どもは時間や服装など、校則を守って生活している。4.3(4.3)

・文化祭・体育会などの行事に、子どもは積極的に参加している。4.2(4.2)

・行事の案内や活動内容などの連絡・情報は、配布文書で伝えられている。4.2(4.1)

・学校の施設・設備は良く整っており、校内の美化・清掃は行き届いている。4.1(4.1)

・子どもは学習・友人関係・活動など楽しく生活していて、学園に入学させてよかった。

4.0(4.1)

・様々なクラブ活動・特設科が活発に行われていて、個性や能力を伸ばしていると思う。

4.0(4.1)

・この学校は学習・活動・体験を通して自分の子どもを成長させてくれていると思う。4.0(4.1)

#### <生徒用アンケートの分析>

生徒の評価は、昨年度と比較すると少し低くなった項目が多く、全般的に厳しい評価となっています。今年度も 4.0 以上の評価を得た項目がなく、一つ一つの項目について振り返りが必要と考えています。生徒たちは、クラブ活動や行事が活発で明るく活気ある学校、また安全や防災に配慮している学校と捉えています。しかし、教育方針を踏まえた指導、いじめ問題対策、様々な課題を抱える生徒一人ひとりに丁寧な対応、落ち着いた雰囲気の中でわかりやすい授業、主権者教育などの評価が生徒によって違いが大きいことをしっかりと受け止め、改善のための方策を講じていきます。

■高い評価を列記 \*3.6 以上 ( )は、前年度評価

※評価の平均値 3.5(3.6)

・様々なクラブ活動・特設科が活発に行われていて、個性や能力を伸ばしている。3.9(3.9)

・地震・津波・火災等、防災・減災に向けた学習や防災訓練を実施している。3.8(3.7)

・遅刻指導など生活面のルールや挨拶・マナーの指導によく取り組んでいる。3.7(3.8)

・服装指導・頭髪指導など学校の規則の指導は適切に行われている。3.6(3.7)

・学校での友人関係や生徒同士の協力やつながりは良い。3.6(3.7)

・将来の進路を考えるキャリア教育で、職業意識が育っている。3.6(3.6)

・学校の施設・設備は良く整って校内の美化・清掃は行き届いている。3.6(3.7)

・文化祭・体育会など行事に積極的に参加し、充実した行事となっている。3.6(3.7)

・生徒のニーズに対応した放課後・休業中の講習を実施している。3.6(3.6)

・行事予定や活動内容などの連絡・情報事項はわかりやすく伝えられている。3.6(3.7)

なく、学習面、日常の生活面においても前向きな取り組みをすることが大切だと指導していただいている。さまざまな壁にぶつかることもあったが、先生や先輩・仲間を支えられて乗り越えている。細やかなご指導、サポートを今後もお願いしたい。

「生徒の悩み・相談への対応」については、先生方が子ども達と近い距離に立って親身に対応してくださっている。四條畷学園高校の特色として、今後も大切にしていきたい。

「進路指導」については、本人の希望に合わせた情報を提供して方向性をいっしょに考えてくださり、勉強の方法も丁寧に指導していただき、私学の良さを感じた。高校の次の進路は将来の仕事につながることを、子ども達にもっと強く意識づけるために、今後もキャリア教育に力を入れていただきたい。

一斉メール配信システム「ミマモルメ」で、学校からの連絡を受信できることは大変役立っている。今後も大いに活用していただきたい。

「18歳選挙権に向けての教育」についての評価が低いのが心配である。令和2年の1年生が高校在籍中に選挙権を持つようになる最初の学年である。この2年の間に、この教育の充実を図っていただきたい。

### 3 本年度の取組内容及び自己評価

#### 【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
<p>【1】 建学の精神と教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画の策定・実践</p>	<p>【1】(1) 教育理念・教育方針に基づく教育計画の再編成 (2) 教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備</p>	<p>【1】(1) 4月に各学年・各校務分掌で、教育理念・教育方針を踏まえた指導目標・教育活動計画を策定し、その目標の実現に努める。 (2) ア.教職員の資質向上のため、新学習指導要領や新しい大学入試制度等教育課題にかかわる教職員研修の充実を図る。 イ.会議・委員会では、教育課題や指導問題についてよく話し合い、有効な実践につなげる。 ウ.より良い教育実践のために、教員間のコミュニケーションや連携を図る。</p>	<p>【1】(1) 4月の学年や分掌の目標や計画の重要性から自己評価点を 4.0 以上とする。 (2) 新学習指導要領も公示され、一部先行実施も求められているので、研修を充実させ自己評価点を 4.0 以上とする。</p>	<p>※( )内は、前年度 (1)4月に教育理念・教育方針をふまえた指導目標・計画を学年・校務分掌で策定し、情報共有した。3.6(3.9) (2) 教職員の資質向上のため教育課題にかかわる教職員研修の充実が図られた。3.3(3.4)委員会では、教育課題や指導方法についてよく話されているが、全教職員で共有する機会が必要と思われる。</p>
<p>【2】 高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤の養成</p>	<p>【2】(1) 主体的・対話的な深い学び（AL 授業）の実践 (2) 集団・社会に貢献できる態度・実行力 (3) 部活動を通して心身の鍛錬</p>	<p>【2】(1) ア.基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組み、内部での授業公開を定例化する。 イ.思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行う。 ウ.課題解決能力を養うための主体的・協働的な授業を実践する。 (2) ア.基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導をしっかりと行う。 イ.クラス活動や行事活動を通して協働や責任感などの社会性を身につける指導を行う。 (3) ア.短い活動時間で集中し、技術や精神力など自らの心身を主体的に鍛える指導を実践する。</p>	<p>【2】(1) ア.自己評価点を 4.0 とする。 イ.自己評価点を 3.8 とする。 ウ.既に実践している先生方の事例を参考にし多くの教員による実践をめざし、自己評価点を 3.8 とする。 (2) ア.自己評価点を 4.1 を目指す。 イ.自己評価点を 4.0 とする。 (3) ア.自己評価点を 4.1 とする。 イ.自己評価点を 4.0 とする。</p>	<p>(1)ア.基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組んだ。3.9(3.8) イ.思考力・判断力・表現力を養うために授業改善に取り組んだ。3.5(3.7) ウ.課題解決能力を養うための主体的・対話的で深い学びの授業を行った。3.2(3.2)昨年同様の低い評価である。 (2)ア.基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導に取り組んだ。3.7(3.8) イ.クラス活動や行事活動を通して協働や責任感などの社会性を身に</p>

	<p>(4) 市民性を育む教育</p> <p>(5) 国際的資質を育む教育</p>	<p>イ.協調性や行動力など社会性を身につけるようチームワークを重視した指導を行う。</p> <p>(4)18歳の選挙権を見すえ市民性・主権者意識を育む教育を実践する。</p> <p>(5) 海外からの研修生・留学生を受入れ、また、本校から研修生・留学生を派遣し、これからの社会で必要な国際感覚を育てる。</p>	<p>(4) 自己評価点を 3.5 とする。</p> <p>(5) 自己評価点を 4.4 とする。</p>	<p>つける指導ができた。</p> <p>3.6(3.7)</p> <p>(3) 部活動を通して技術・精神力等を鍛え、協調性・社会性を身につける指導ができた。</p> <p>3.9(3.8)</p> <p>(4) 18歳の選挙権を見すえ市民性・主権者意識を育む教育を実施した。2.9(3.3)評価は教員・生徒共に低く、全学年に周知するための工夫が必要である。</p> <p>(5) 海外からの研修生・留学生を受入れ、また、本校から研修生・留学生を派遣した。4.1(4.1)例年、評価は高い。</p>
<p><b>【3】</b></p> <p>人としての在り方・生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識</p>	<p><b>【3】</b>(1) 自己・他者が共により良く生きようとする態度</p> <p>(2) 一人ひとりのニーズに応じた指導</p>	<p><b>【3】</b>(1) ア.学年別にテーマを決め、多様な人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施する。</p> <p>イ.学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。</p> <p>ウ.年3回のいじめアンケートの実施等、普段から生徒の様子をしっかりと観察する。</p> <p>(2) ア.様々な課題を抱える生徒一人ひとりをしっかり理解し、丁寧に対応し支援を行う。</p> <p>イ.生徒のニーズを把握し教職員が連携しチームとして特別支援教育を実施する。</p>	<p><b>【3】</b>(1) ア.自己評価点を 4.0 とする。</p> <p>イ.自己評価点を 3.9 とする。</p> <p>(2) ア.自己評価点を 4.1 とする。</p> <p>イ.自己評価点を 3.7 とする。</p>	<p>(1)ア.多様な人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施した。3.7(3.7)</p> <p>イ.学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養っていた。3.7(3.8)</p> <p>(2)ア.様々な課題を抱える生徒一人ひとりに丁寧に対応し支援を行っていた。4.0(4.0)</p> <p>イ.生徒のニーズを把握し教職員が連携して特別支援教育を実施した。3.9(3.7)今年度は、特別な配慮を要する生徒に個別指導計画を作成し、学年主体で支援することができた。</p>

中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
<p><b>【4】</b> 進路目標の実現に向けて、未来を切り拓くキャリア教育・進路指導</p>	<p><b>【4】</b>(1) 未来の目標を実現する能力  (2) 生徒の目標を実現させる進路相談・支援</p>	<p><b>【4】</b>(1) ア.自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を行う。 イ.職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。  (2) ア.進学や就職にかかわる進路情報を提供し、相談・助言を行う。 イ.生徒のニーズに対応した放課後・休業中の講習を実施する。</p>	<p><b>【4】</b>(1) ア.自己評価点を 3.9 とする。 イ.自己評価点を 4.0 とする。  (2) ア.自己評価点を 4.2 とする。 イ.自己評価点を 4.0 とする。</p>	<p>(1)ア.生徒の興味・関心を知り進路目標を考えた進路指導を行った。3.9(3.9) イ.社会的・職業的自立に向け、必要となる能力や態度を育てるキャリア教育を実施した。3.7(3.9)体験から学ぶ機会が少ないため低い評価になった。 (2)ア.生徒の要望に応じた進路情報の提供、相談・助言ができた。4.0(4.0) イ.生徒のニーズに対応した放課後・休業中の進学講習は計画通り実施できた。3.4(3.5)評価は低い。</p>
<p><b>【5】</b> 安心・安全な社会を築くための態度と行動力の養成</p>	<p><b>【5】</b>(1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施</p>	<p><b>【5】</b>(1) ア.マニュアルに沿った避難訓練、大阪 880 万人訓練等地震・津波・火災等、防災・減災に向けた訓練を実施する。 イ.自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施する。  (2) 「危機管理マニュアル」の検討を行う。</p>	<p><b>【5】</b> ア.自己評価点を 4.3 とする。 イ.自己評価点を 4.0 とする</p>	<p>(1)ア.地震・津波・火災等、防災・減災に向けた訓練が実施できた。4.0(3.9) イ.自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施した。3.6(3.3)日々の生活の中で防災意識を高める努力が必要と思われる。</p>